

議員案第2号

「小金井都市計画道路3・4・11号線」に関する意見交換会の継続を
求める意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

平成31年2月28日提出

小金井市議会議員

村 山 ひでき
沖 浦 あつし
白 井 亨
片 山 薫
坂 井 えつ子
田 頭 祐 子
水 上 洋 志
渡 辺 大 三

「小金井都市計画道路3・4・11号線」に関する意見交換会の継続を
求める意見書

東京都が昨年度2回開催した、「小金井都市計画道路3・4・11号線」に関する意見交換会は不成立に終わった。参加市民の大多数は、都市整備局の同席を要望したが、東京都が事業化前提の考えを固持し、柔軟に対話をしようという姿勢を持たなかったためである。

今年度初めて、2019年2月8日に開催された意見交換会も不成立に終わった。東京都が目的とした意見交換ができなかったため、今後は意見交換会を開催せずにオープンハウスで広く市民の意見を聴くと説明したことに起因している。そもそも、丁寧な対応をするために東京都が参加市民を募って開催してきた意見交換会を、一方的に打ち切るような行為は、丁寧とは言えない。当然、会場は紛糾し当初予定の1時間半を超過し3時間かけても折り合いはつかず、東京都が「お互いにとってメリットがない」とまで発言する事態であった。東京都の意向と対応に納得できない参加市民は、説明会終了後、職員に対話を求めたが平行線のままであった。

東京都が開催を予定しているオープンハウスは、計画の見直しが求められている現状には適さない手法である。個別対応のため意見要望が共有されず、課題が見過ごされたまま計画が進むおそれがある。東京都は、今回の意見交換会で、第四次事業化計画策定前に開催したオープンハウスで出た意見は、対応を検討するものではないと発言しているため、オープンハウスの形骸化が懸念される。

東京都・特別区・26市2町が行った東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）のパブリックコメントにおいて、総数（4,126件）の過半数は小金井市内の2路線に対するものであり、うち反対・見直しは2,041件に上っている。賛成はわずか70件であった。自然環境や住居を壊してまで道路を建設することの理解は得られていない。

小金井市議会も、4度にわたり計画見直しや対応の改善を求める意見書を送付しているが、東京都の対応に変化はみられない。無視され続けているといっても過言ではない。

このような東京都の対応は、住民自治の軽視にほかならず、「都民ファースト」という小池都知事の公約とも程遠く、抗議するものである。

よって、小金井市議会は、東京都に対し、道路整備の必要性について、市民と都市整備局が意見交換できる場を設け、今後も意見交換会を継続して行うことを強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成31年 月 日

小金井市議会議長 五十嵐 京子

東京都知事様